

令和 7 年度 公益財団法人津山社会教育文化財団 事業計画書

1. 令和 6 年度事業の特記事項

令和 6 年 9 月～11 月にかけて岡山県北で実施された「森の芸術祭」の会場として、当財団の施設である津山科学教育博物館(つやま自然のふしぎ館)の企画展示室(第 12 室)を提供した。この期間中、芸術祭事務局からの申入れで、同展示室の改修、高校生以下の入館料の無償化等特別な対応を実施したが、結果として多数の入館者の来場があり、成功裏に終了できた。

2. 令和 7 年度の事業概要

(1) 津山科学教育博物館(つやま自然のふしぎ館)

- ① 第 4 室中国地方のジオラマの完成。(創立 60 周年事業の継続)
- ② 企画展示室(第 12 室)での令和 7 年度の企画展。
- ③ 展示物(はく製類)の修復。

写真家 村松桂氏は、当館のはく製類の写真集を発行するために、「クラウドファンディング」を実施されたが、その余剰金を当財団に寄付したいとの申し出があり、はく製類の修復資金として当寄付金を有効活用することとした。

- ④ 展示室、建物の改修、一部バリアフリーの設備の新設。

「森の芸術祭」の鑑賞パスポートで入館された方の払い戻し金を、展示室等の修復、バリアフリー化の資金として使用する。

(2) 歴史民俗館及び森本慶三記念館

- ① 津山市が主導する城下地区の活性化事業に、歴史民俗館及び森本慶三記念館の参画を推進し、城下地区全般の利活用を進める。
- ② 記念館が所蔵する図書のタグ付け作業を推進する。

③ 歴史民俗館の展示物台帳の更新、データ化。

3. 博物館の運営（定款4条第1項）

（事業費 18,465 千円）

(1) 開館日数：年間 312 日（休館日：53 日）

(2) 開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

(3) 入館料

（円）

	大人(高校生以上)	小人(小中学生)	幼児(4,5歳)
津山科学教育博物館 (つやま自然のふしぎ館)	800	600	400
歴史民俗館	500	300	無料
両館共通	1,000	700	400

※ 障がい者、高齢者（70 歳以上）、団体（20 人以上）等の割引制度あり

4. 展示の状況

(1) 津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）

- ・ 第 1～15 室に以下の展示品を常設展示。（第 12 室は「企画展示室」として活用）

動物実物はく製標本、化石類、貝類、蝶・昆虫・蜘蛛類、鉱石類、人体標本(一部実物)類

総計約 20,000 点。

(2) 歴史民俗館

- ・ 第 1～3 室に以下の展示品を常設展示。

津山商人、津山藩、及び森本慶三の足跡等 総計約 800 点。

(3) 森本慶三記念館（常時公開は行わず、見学は予約制）

- ・ 蔵書 約 66,800 冊、備品 210 点を別棟書庫に収蔵。

（現在、蔵書はデータ化のため館外へ搬出中）

- ・ 津山市と連携した城下スクエアでの行事に呼応した特別企画展を開催。

5. 企画事業の内容

(1) 津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）

- ① 企画展示室（第 12 室）を利用した干支に関連する企画展を計画中。

（令和 7 年 6 月頃から公開予定）

② 通常企画事業

- ・ 博物館実習(大学生対象) 学芸員資格取得のための実習。(8月下旬)
- ・ 館内学習会(小中学生対象) 館内見学とワークシートに基づく学習。(随時)
- ・ 館内研修会(高大学生対象) 特定の室での動物観察、スケッチ等実習。(随時)
- ・ ナイトミュージアム(一般対象) 夜間、博物館を開放し野生動物の夜の生態を疑似体験する。(8月上旬)

(2) 歴史民俗館及び森本慶三記念館

昨年度に引き続き、津山城下地区の活性化事業に関する実証実験に参画し、城下地区全般の利活用を進める。

6. 資料の収集、貸出し等

- (1) 資料の購入等：本年度の予定は無し。

- (2) 資料の貸出し：他施設の要望に応じて随時実施する。